

しんじゅくコール ☎03-3209-9999
土・日曜日、夜間もご案内
受付時間:午前8時~午後10時
FAX 03-3209-9900

聴覚に障害がある方で「ファックス番号のない記事」へのお問い合わせは、しんじゅくコールのファックスをご利用ください。



6月は
まだ油断できない!
新宿区は『コロナ警戒期間』です

区民の皆さまへ ~段階的に生活のリズムを取り戻していきましょう~

新型コロナウイルスに感染された皆さまとご家族の皆さまに、心からお見舞いを申し上げます。

5月25日に緊急事態宣言が解除されましたが、感染拡大の第二波襲来の恐れが指摘されています。区内では依然、新たな感染者が確認されています。少なくとも6月は「コロナ警戒期間」として、臆病なぐらいに警戒すべきだと考えています。6月中に、感染を防止するための「新しい生活様式」を生活習慣に取り入れながら、段階的に生活のリズムを取り戻していきましょう。

もう一点お願いがあります。保健所による疫学調査へのご協力です。保健所は感染が判明した方に対し、聞き取り調査を行います。これは、犯人探しではな

く、感染経路を辿ることによって、感染拡大を防止することを目的とした調査です。ご本人のプライバシーや所属先への影響にも配慮をしたうえで、クラスター化(集団感染の拡大)を防いでいます。

最後に、区内医療機関に従事されている皆さまに、感謝を申し上げたいと思います。自らの危険を顧みず、未知のウイルスから区民の生命を守る為に、日夜ご尽力をいただいています。区民全体で感染予防をし、医療関係者の負担を軽くしましょう!

よしずみ けんいち
新宿区長 吉住 健一

新宿区内における
新型コロナウイルス感染症流行の概要

区内では、3月後半から新型コロナウイルスに感染された方の数が増え、特に繁華街で、夜間から早朝にかけて営業している店舗等で感染者が増加し、その後会社員や高齢者に感染が広がりました。

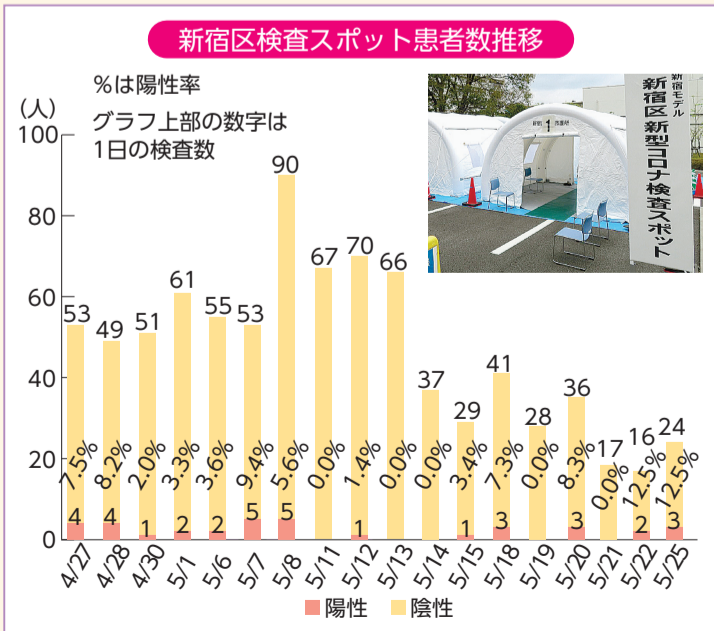
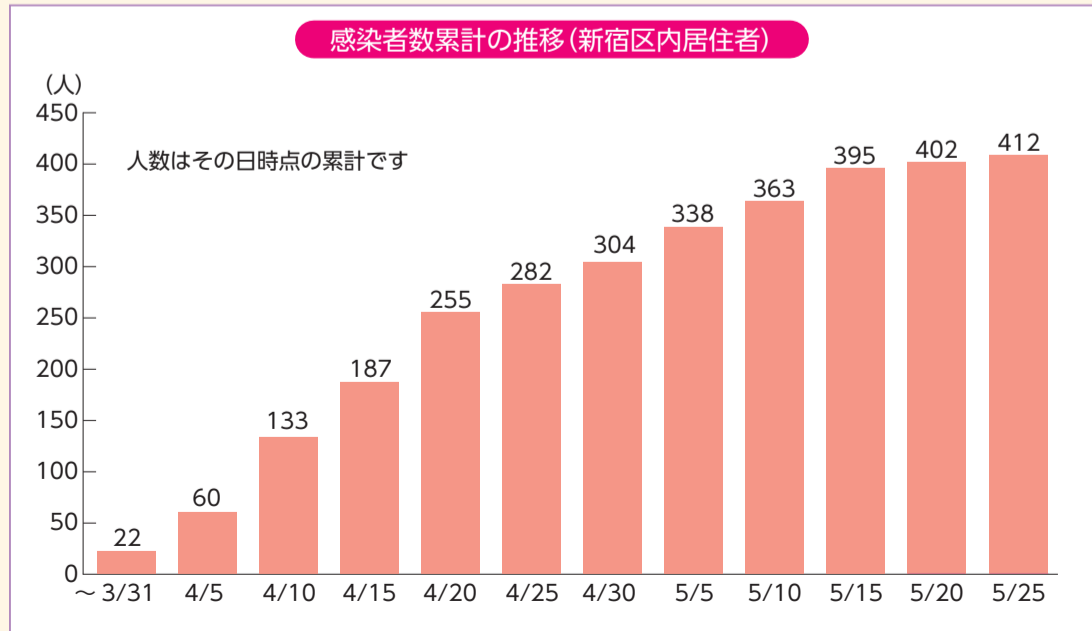
4月7日に緊急事態宣言が発出された後も、感染経路不明の市中感染事例が増え続けました。区保健所では、患者発生届を受理し、入院先の調整や疫学調査を行っています。4月中旬には1日の患者発生届が20~30件となる日もあり、入院の調整が難航し、自宅療養をしていただく事例もありま

した。現在は、東京都の宿泊施設での療養が導入され、自宅療養の課題は解消されています。

区内感染者数の増加を踏まえ、区は、区民が迅速にPCR検査を受けられるよう、「新宿区検査スポット」を設置し、4月27日から運用を開始しました。

4月後半以降は、発生届の減少傾向が見られますが、高齢者の感染は続いており、介護サービス事業所での感染事例が複数発生しています。区では、介護サービス事業所の感染防止対策の強化を図るため、区が作成したチェックリストにより各事業所における取り組み状況を確認(右写真)するとともに、必要に応じて区職員が個別訪問し改善指導を行っています。

また、20歳代の若年者や飲食店での感染も続いており、引き続き感染予防の啓発等の取り組みが必要です。(新宿区保健所長)



新型コロナ対策の これまでとこれから

国立国際医療研究センター
国際感染症センター長
おおまがりのりお
大曲貴夫 先生



5月24日の段階で、東京都における新型コロナウイルス感染症患者の報告が2名にまで減少しました。一時期は1日当たりの報告者数が200名を超えたことを思えば、その数は本当に減少したと思います。私は、今年の3月の終わりから4月にかけて東京がどうなってしまうのかと本当に心配し、医療者として気持ちが追い詰められていました。これで東京における新型コロナウイルス感染症の流行の第一波をくぐり抜けられる見通しが見えてきました。

ここまで来ることができたのは、住民の皆さま

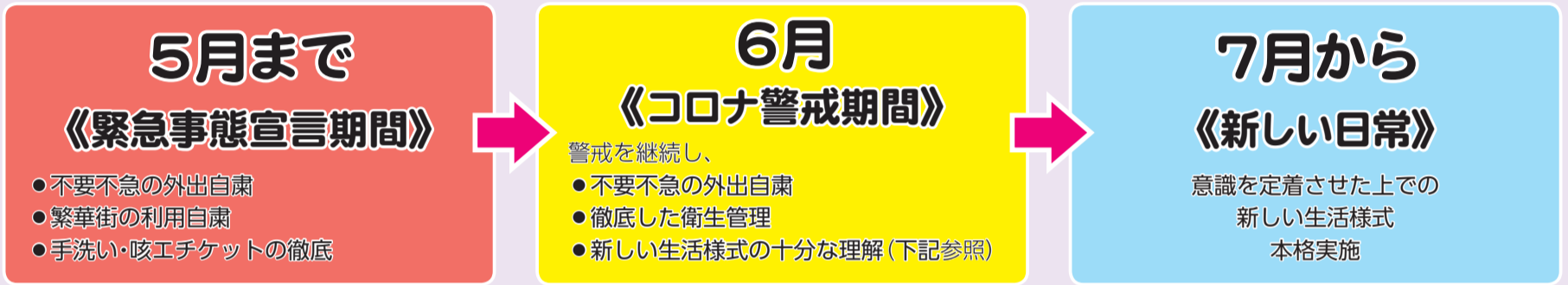
方がいわゆる3密(密閉・密集・密接)を避けることを意識して行ってきていただいたことが大きな効果を示していると考えています。これら3つがそろそろ所が新型コロナ感染症のクラスターの起こりやすい場です。実はこの概念は、この1月からの新型コロナウイルス感染症の国内での流行の中で、新たに得られた知見から導き出されたものです。私は、感染のリスクの高い場を明快に描き出した、素晴らしい概念だと思っています。皆さん方がこれを避けてくださったことが今の成果につながっていると考えます。

さて、いよいよ緊急事態宣言が解除されました。しかしこれは新型コロナウイルス感染症対策の終わりではありません。これまでのさまざまな科学的な検討で、少し対策が緩めば患者数がぶり返すことがわかっています。世界のさまざまな国でも対策を緩和したことによって、再度流行が見られるようになったなどの報告があります。よって日

本においても決して意識を緩めてはならないと思います。せっかくここまで押さえ込みが効いていたのに、ちょっとした気の緩みで3月から5月に起こったような大流行がまた戻ってくる可能性があります。あのときにはみんな不安で辛い思いをしました。このような事態はできれば、もう経験したくないものです。

これから対策に関しては徐々に変更されていき、私たちの日々の生活にも自由度が増していくと思います。しかし3つ密の場が新型コロナウイルス感染にかかってしまう危険性が高いことには変わりありません。平穏な日々が続けられるよう、引き続き3つ密の場を避けてまいりましょう。また当面の間はお互いにコロナウイルスをうつし合わないよう、外出時にはマスクを着用することを強くお勧めいたします。私も区民の一人として、ここまでの多くの方々の努力を無駄にしないよう、引き続きコロナ対策にがんばっていきたいと思います。

新宿ステップ



感染予防のための新しい生活様式

あなたの命と大切な人、社会を守るために、一人一人が日常生活の中で感染予防の視点を踏まえた「生活様式」を心掛けることが大切です。
【問合せ】保健予防課保健相談係(第2分庁舎分館1階) ☎(5273)3862・FAX(5273)3820へ。

<p>密閉を避ける 小まめに換気</p>	<p>密集を避ける 人数を減らす</p>	<p>密接を避ける 人との距離は2m (最低1m)</p>	
<p>外出はマスク着用 屋内や会話は 症状がなくても着用</p>	<p>小まめに手洗い 帰宅時はシャワーを 浴びるとベスト</p>	<p>体調が悪い日は 無理せず休む</p>	<p>みんながよく 触れる場所は 消毒</p>

ウイルスに接触する機会をつくらないために、例えば...

<p>人との交流は、オンライン (テレビ電話・テレビ会議) を活用</p>	<p>食事は 大皿・おしゃべり・ 対面・大人数は避ける <u>マスクをしていないので、 しぶきが飛びます!</u> 持ち帰りやデリバリーも活用</p>	<p>買い物は 電子決済・ 通販も利用</p>
<p>空いている時間 に外出</p>	<p>出かける時は、 徒歩や自転車での 移動も考える</p>	

※新型コロナウイルス感染症対策専門家会議の提言(5月4日)から